

ご挨拶

私には、つねに思うことがあります。

「日常って、もしかしたら面白いのかもしれない。」

と。

日常というと、ありきたりであるとか、つまらないといったことを思いがちですが、よく見てみると実は面白いことが隠れていたりします。発想を転換してみたり、言葉をもじってみたり……。ああだったらいいのに、こうだったらいいのにと思っていると、実はこんなのかも、と面白い発想に出会うこともあります。それが今回はケータイ電話でした。いつも何気なく使っているのですが、よく考えてみると不思議なものだと思います。手のひらサイズでこんなに薄くて軽いのに、世界の遠く離れた相手と数秒でつながることができます。いわば、時空も空間も超えてしまうわけです。もしかしたら、目に見えない世界ともつながっているのかもしれない。その世界との入り口になっているのかもしれない。そう思いました。

私にとって、ファンタジーは究極のポジティブです。

面白くなきことを面白く、面白きことはさらに面白く。生きるからには、楽しく生きたい。考え方次第で、人生は大きく変わるものです。今回はその一例に過ぎません。もっと面白いことが隠れているかもしれないし、実際、ありえない世界ともつながっているのかもしれない。本当のところは誰も知る由がないのではないかと思います。

本日は、「Fant@sy 伊藤ますみ展」にお越しくださり、誠にありがとうございます。どうぞゆっくりお楽しみください。